

ローカルLinux ディストロの**逆襲**

～ 草の根で育むディストロ開発 第7回

OSC2012 Tokyo/Fall

2012年9月8日(土) 13:00～

明星大学28号館302教室

小江戸らぐ

島田啓史
羽鳥健太郎

前回までの復讐

- Slax本家があいかわらず死に体
- Porteus 1.1がリリースされたけど課題あり
 - 軽薄短小のいいところなくなった
 - デバイスとの相性がいまいち
 - 課題満載の割には日経Linuxに収録してもらった
 - これで日本でメジャーになるか...
- Opencoconは順調に開発
 - v2が無事にリリース
 - 普及に向けて全国のOSCにキャラバンを展開
- Hiyocoは聞いてくれるな

あれから**半年**経ったけど...

- Slax本家が再び動き出した
- Porteus 1.2が直後にリリース
 - 軽薄短小はLXDEでと割り切った
 - koffice(Calligra Suite)がネットインストール
 - デバイスとの相性が少しだけ改善
 - あいかわらず鳴かず飛ばずの状態...
- Opencoconは順調に開発を継続
 - v3が無事にリリース
 - もうすぐv4もリリース
- Hiyocoは聞いてくれるな

いまやっていること

- 開発を実環境から仮想環境に変えてみた
- Ubuntu上でVirtualBoxを使用
- ディストロ版でなくて本家版に
- 慣れないために悪戦苦闘中
- これまでの資産をどう移行すればいいの
- 使っているうちにいろいろ考えた

仮想環境の**利点**

- ISOイメージをブートせずに起動できる
- メディアを焼かないので環境にやさしい
- 光学ドライブよりかなり高速
- ディスクが効率的に使用できる
- 複数のOSを同時に起動できる

仮想環境の欠点

- ポインタが暴れる
- X window systemの画面が凍るときがある
- 光学ドライブやUSBメモリの扱いが難しい
- 共有フォルダがうまくいかない
- 起動しないLiveCD Linuxがある
- 開発したディストロが実環境で動くか不安

それ以上の**違和感**

- 個人的換装では
 利点 > 欠点
 なので使い続けると思うけど...
- トゲのような違和感を感じてる
- それが何なのかを考えてみると
- ハードウェアとゲストOSの間にホストOSがあるのが不安
- そうかゲストOSなんだ...

所詮は

Guest

けっしてなれないもの

Host

憧れているわけではない



(あくまでもイメージです)

違和感を整理してみると

- 軽薄短小なLiveCDとして開発してるけど
- 仮の環境で使われるのは不本意
- さらに仮の環境で評価して終わりだと orz
- せめて実環境で評価されたい
- できれば実環境で使われるようになりたい
- 結局はディストリビュータ側のワガママかも

実環境で使われるには

- 実環境でのレスキュー用
- 仮想環境を起動するよりお手軽
- 仮想環境で使うべきところと実環境で使うべきところの境を提示する
- 実環境を内側より外側で触るほうがメリットが大きい
- 仮想環境で動かない

最新版Porteus 1.2 てどうよ

- Linuxカーネル 3.4.4 に！
- デスクトップが最新バージョンに
 - KDE 4.8.4
 - Trinity 3.5.13.1 (R14)
 - LXDE latest stable component
 - xfce 4.10
- 使用するときkofficeをダウンロード
- ネットの依存度が高くなったのか
- 起動プロセスが改善された
- チューニングツールが充実

opencocon v3/v4 てどうよ

- ・ 島田くん、簡単に解説してちょうだい



opencoconとは

旧型PCを
シンククライアント
として
使用する
ディストリビューション

旧型コンピュータの 再利用？

- 手間がかかるのではないかな？
- 用途がないのではないかな？
- 節電にならない、エコではない

旧型コンピュータの 再利用？

- 手間がかかるのではないかと？
→ opencoconは多分手間いらずです
- 用途がないのではないかと？
→ シンククライアントでお役に立ちます
- 節電にならない、エコではない
→ リユースも大切であると考えてます

すごく簡単な使い方

- Opencocon のCDを入れてブート
- メニューから、接続するプロトコルを選択
- ユーザ名などを入力
- ……これだけで接続!

opencocon v3 (hyper experimental)

XEPHYR	Connect XDMCP
RDP	Connect RDP
UNC	Connect UNC
UNC2	Connect UNC (Alt.)
WWW	Web Browser
XDMCP	Connect XDMCP (Classic)
XSH	X Shell
CLOCK	Pong-Clock
ABOUT	About opencocon
OFF	Power Off

< **OK** >

<Cancel>

Panasonic CF-S21

Let'snote

Send Key View Settings

ファイル 編集 表示 挿入 書式 配置 ツール スライド... ウィンドウ ヘルプ

PowerPoint プレゼンテーション ギャラリー

- ▼ テーマ
 - すべて
 - 個人用テーマ
- ▼ テンプレート
 - すべて
 - 個人用テンプレート
 - スライド事例 (英語)
 - プレゼンテーション
 - ▶ オンライン テンプレート

この Mac について



Mac OS X

バージョン 10.6.8

ソフトウェア・アップデート...

プロセッサ 2 GHz Intel Core 2 Duo

メモリ 2 GB 667 MHz DDR2 SDRAM

起動ディスク Macintosh HD

詳しい情報...

TM and © 1983-2011 Apple Inc.
All Rights Reserved.

LOREM IPSUM

アート

LOREM IPSUM

アングル

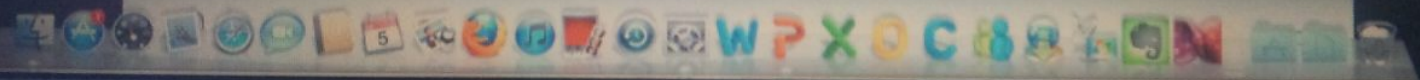
色:

フォント:

スライドサイズ:

Lorem Ipsum

キャンセル 選択



Esc F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8 F9 F10 F11 F12 NumLk Pause

今の 旧型コンピュータ事情

- Windows XP世代が徐々に旧型とされている
(2001年～2007年程度?)
- メモリは128MB～512MB
- ハードウェアの故障が結構多い時期がある
- Linuxを使う際のデバイス問題がほぼ解消
- Mac : 初期のIntel Macが旧型に。初代iMac以前はあまり見られなくなる
- **CD、USBメモリ起動**がほとんどの機種で可能になった

ここんのリリース歴

- Opencocon v0 ~ v2
 - OpenEmbedded 2011.03-maintenance
 - まず、ツールキットを使いこなせればよいと考えた。
 - そのため、リポジトリは割とごちゃごちゃであった
 - v1 からメニューインターフェイスとライブCDが登場。使う際の敷居が下がった

ここんのリリース歴

- Opencocon v3
 - OpenEmbedded-Core + meta-oe
 - ここん固有の部分と共通部分をおおむね分割
(一部アドホックなパッチが残っているが...)
 - 綺麗なリポジトリとなった
- ~~Opencocon v4~~
 - 主にバグ直し

サポート体制

- マイナーなディストリはここが弱い
- 今は友人伝えとか、小江戸とかでフィードバックを貰っている
- どんな形がよいだろうか？
(Forum, Wiki, Mailing List, Twitter, …)
- なかなか手が回らない！

ドキュメント

- やっぱり間に合っていない
- 本当は書かないと、開発に興味を持ってもらう人を増やせない
- 何かしら集中する機会がないか？

思ったこと

- 通常、Linuxディストリビューションを作る必要はない。
- これだという用途を見つけ、ここまで作ることができたのは幸運だと思う
- スクラッチの手法が適切であったかは疑問だが、色々知ることができた

おねがい

- opencoconは、旧型コンピュータの**実機**で最適な性能を出せるようにチューニングしています
- 仮想マシンでも動かなくはないですが、お勧めしません
- CD版のopencoconは、HDDに書き込むことはしません。安心してお試しください

おねがい

- 2009年以降の機種は、ほとんど考慮していません。動かないハードウェアがあります